

Ishida Eye Clinic
News Letter
Destiny Enishi



※イメージで、駅伝の写真を使用
順天堂大学陸上競技部 駅伝強化担当理事 宮野武 練馬病院名誉院長様 提供

2022 SUMMER vol.12

行事報告 [2月]

2月 角膜カンファレンス2022

日頃よりお世話になっている金沢大学附属病院眼科 病院臨床准教授 小林顕先生が会長を務める「角膜カンファレンス2022」(石川県にて)に院長が日帰りで参加しました。小林先生は上越市出身で院長の母校・高田高校の後輩にあたり、日本の角膜内皮移植の権威です。



専門外来のご案内 [7月、8月、9月、10月]

日程は変更になる場合があります。
なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。

網膜硝子体専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科教授 横山 利幸先生 8/5、9/9、10/28
順天堂大学浦安病院 眼科准教授 坂西 良仁先生 7/2
順天堂大学浦安病院 眼科助教 眞下 圭太郎先生 10/1
寺尾医師、米田医師他 7/11、7/23、8/23、9/12、9/24、10/8、10/29

角膜屈折矯正専門外来

聖路加国際病院 顧問 山口 達夫先生 7/23、8/20、9/17、10/22
国立長寿医療研究センター病院 眼科部長 稲富 勉先生 7/16

緑内障専門外来

日本赤十字社医療センター 前眼科部長 濱中 輝彦先生 7/28、7/29、8/4、8/5、8/18、9/15、9/16、10/6、10/7
東京大学医学部附属病院 眼科教授 相原 一先生 7/9、9/13

眼形成・涙嚢専門外来

東邦大学医療センター大橋病院 非常勤講師 矢部 比呂夫先生 6/23、9/29
京都府立医科大学 眼科助教 渡辺 彰英先生 8/20
聖隷浜松病院 眼形成眼窩外来部長 上田 幸典先生 8/6、9/10

小児眼科専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科教授 横山 利幸先生 7/30

石田眼科メモリアル

糸魚川市在住の患者 Yさんからお借りした写真で、昭和40年8月頃に高校生のYさんが夏休みにご家族の付き添いをされて旧病院を訪れた時の様子です。当時、白内障手術は1ヶ月ほど入院していました。



絆

100歳を超えて
通院してきてくれる
患者さんとともに



／ 医院継承は駅伝と同じ ／

この度、息子^{がく}学が京都府立医大眼科医局で修業し静岡県にありますが藤枝市立病院眼科部長を経て、この4月から石田眼科の副院長として帰郷しました。これから私とともに石田眼科を繋いで行くことと思います。幸いにも京都で木下茂名誉教授や外園千恵教授の下、日本の眼科でトップランナーの数多くの先輩方からのご指導を受け、親の欲目もありますが、手術・診療に関してはほぼ一流の良き眼科医に育って帰ってきたと思います。石田眼科の診療を安心して任せられます。

1915年に祖父喜二郎が開院し、その後2代目父修、3代目私が引き継いでおりますが、この約30年間で眼科医療の内容は超速に変化進歩し、眼科環境も大きく変化をしております。当院は4月19日で開院107年となりましたが、この歴史は決して誇れる事ではありません。ただ眼科医療を『駅伝のたすき』と同じ様に途絶えることなく繋ぎ、何とか休院することなく現在に至りました事は大変幸せなことだと思っております。

「売り家と唐様で書く三代目」と言われますが、幸いにも神仏のご加護もあり私の代でも何とかこの襷を息子に渡していくことができそうです。これはひとえに患者さん及びご家族の温かいご支援とこれまで当院に携わっていただいたスタッフの賢明な努力・協力があつたものと思ひ、感謝を致しております。祖父からの「患者さんの痛みを共に分かちあう」私の信条である「地域にあつても中央に匹敵する」という「襷」を副院長学には引き継いで貰いたいと思ひます。

今後とも初心に返り驕ることなく息子共々職員とともに研鑽努力をし、伝統を守つていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

石田眼科医院 院長 石田 誠夫



誠夫院長と学副院長



副院長就任にあたり

令和4年4月から喜修会石田眼科医院の副院長を拝命いたしました。私は昭和大学医学部を卒業後、順天堂大学付属浦安病院において卒業後臨床研修を行いました。2年の研修を終えた後、京都府立医科大学眼科学教室に入局し研鑽を積んでまいりました。京都府立医科大学は木下茂教授、外園千恵教授を中心とした角膜の分野では世界のトップランナーであり、私自身も



藤枝市立総合病院のスタッフと

角膜再生医療の基礎研究や臨床に携わってまいりました。本年3月までの2年間は、静岡県藤枝市立総合病院で地域医療の中心病院における責任医師として、網膜剥離などの硝子体手術、難治白内障

手術や多焦点眼内レンズ挿入術、アイステント手術を中心とした低侵襲緑内障手術を積極的に数多く行ってまいりました。又、近年はICLなどの屈折矯正手術も施行しております。



ベトナムにて

また、京都府立医科大学眼科学教室のモットーでもある「Be International」を胸に、ハーバード大学スケペンス研究所やSingapore National Eye Center、インドのハイデラバードにあるLV Prasad Eye Institute、タイのチュラロンコン大学などを見学し、ベトナムではPKO法人アジア失明予防の会の活動に参加し、白内障手術のボランティア活動にも参加させて頂きました。今後はこれらの経験を糧に、上越市、妙高市、糸魚川市を中心とした北信越地域および新潟県全域の眼科診療のために努力すると共に、石田眼科医院からアジア、更には世界に発信していきたいと思っております。

石田眼科医院は令和4年4月19日に開院107年目を迎えました。曾祖父喜二郎、祖父修、父誠夫の次に繋がる世代として眼科医療を通して地域に貢献できるように精進してまいります。今後も皆様方の温かいご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団喜修会
石田眼科医院
石田眼科糸魚川クリニック
副院長 石田 学



最新眼科医療器機紹介

高速回転の硝子体手術が可能 最新鋭の硝子体・白内障手術装置「EVA」

当院の4台目の硝子体手術の機械です。新しいTwin Duty Cycleの硝子体カッターが使用可能となり、硝子体の切除効率が飛躍的に向上しました。また、自動灌流調節機能を有しており、より小さな切開創(27ゲージ)からでも、安全で高速な硝子体手術が可能となります。また、白内障手術もより安全に早く行う事が可能となります。



オランダドルク社製

最先端の治療で多くの患者さんがコンタクトレンズや眼鏡から解放されています

モダンレーシック

モダンレーシックとはフェムトセカンドレーザー、エキシマレーザーを使用します。OPDの正確なデータをレーザーに入力するので、より正確に視力を矯正出来る方法です。

・11名20眼 平均年齢36.1歳(28歳～53歳)

治療前視力

平均0.1

治療後視力

平均1.2

(令和3年10月～令和4年3月)

ICL手術 [有水晶体眼内レンズ]

当院ではICL(有水晶体眼内レンズ)手術も始めました。モダンレーシックでは適応外の強度近視の方にも適していますので、興味のある方はお気軽にお尋ね下さい。

・9名18眼 平均年齢26.2歳(19歳～32歳)

治療前

視力 0.05
近視度数 -9.75D
(最大)

治療後

視力 1.2
近視度数 +0.5
(最大)

(令和3年10月～令和4年2月)

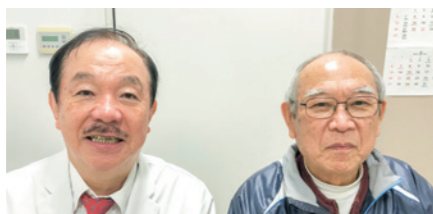
モダンレーシックは県内では当院のみ、ICL手術は県内では当院を含め3施設のみ治療を行っております。

説明用ビデオを院内で放映中。貸し出しもしています。是非ご覧下さい。興味のある方は **無料説明会開催中**

当院患者Tさんが ねんりんピックに参加

Tさんは剣道7段の腕前で、県大会70才以上の部では優勝、県の代表として「ねんりんピック」に参加されています。

「ねんりんピック」とは、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である全国健康福祉祭の愛称です。近年はコロナ禍の為、開催されておりませんが、Tさんは令和元年の「ねんりんピック」の国わかやま2019にも大將として参加されました。また、若者の育成にも貢献され、上越市より表彰もされています。



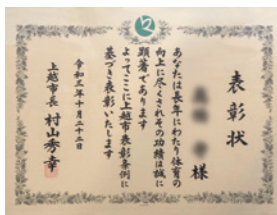
院長とTさん



剣道の試合で面を決めるTさん



ねんりんピックの賞状



上越市からの表彰状

2021年手術件数報告 (2021年1月～12月)

● 白内障手術	1332件	● 外眼部手術	19件
● 緑内障手術	79件	● 眼瞼下垂手術	112件
● 角膜移植	13件	● 斜視	4件
● 網膜硝子体手術	214件	● 涙嚢鼻腔吻合術	10件
● 翼状片	39件	● 硝子体注入	740件

● その他	97件
● 屈折矯正治療	82件
モダンレーシック	42件
(タッチアップ含む)	
PRK、PTK	14件
ICL(有水晶体眼内レンズ)	26件
(計2741件)	